

# 女川町におけるPAZ内から避難先までの主な経路

➤ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。

避難先：栗原市  
(高清水小学校、他2施設)

《避難経路の考え方》

- ・円滑な避難のため、可能な範囲で地域毎に分散して経路を設定
- ・住民が覚えやすく実行しやすい避難誘導計画となるよう、基本となる単一の避難経路をあらかじめ設定
- ・自然災害等により、道路の遮断や障害物による道路幅の減少等が想定又は確認できるときは、各道路管理者と協力し、代替避難路を速やかに確保。その上で、あらかじめ定めた避難計画にかかわらず、代替となる安全な避難経路において避難



【国道45号経路(例)】  
 県道41号→国道398号→国道45号→  
 国道342号→県道36号→国道398号

【基本経路(例)】  
 県道41号→国道398号→県道234号→  
 三陸自動車道→県北高速幹線道路→  
 国道346号→国道398号

【予備経路(例)】  
 県道41号→国道398号→三陸自動車道  
 →県北高速幹線道路→国道346号→  
 国道398号

【国道108号経路(例)】  
 県道41号→国道398号→国道108号  
 →国道346号→県道36号→国道398号

【凡例】

- : 基本経路(例)
- ⋯ : 予備経路(例)
- ⋯ : 国道45号経路(例)
- ⋯ : 国道108号経路(例)
- : 避難先市町村所在地

おながわちょう  
 女川町  
 対象住民：270人

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。



# 避難を円滑に行うための対応策①

- PAZ及びUPZ内の住民の車両による避難を円滑に行うため、県、関係市町及び県警等により道路渋滞を把握し、主要交差点等における交通整理・誘導・規制、「交通情報板」等を活用した広報等の交通対策を行う。

## おながわ 女川地域における交通対策

### ○道路渋滞把握対策

テレビ伝送システムを活用し、道路渋滞の把握を実施

### ○交通誘導対策

主要交差点等における市町、県警察等の交通整理・誘導等により、円滑な避難誘導を実施

### ○交通広報対策

日本道路交通情報センター(JARTIC)、交通情報板、避難誘導・交通規制用自動制御板等を活用した広報  
光ビーコンを活用した交通情報提供

### ○交通規制対策

混雑エリアでの交通規制、主要交差点における信号機操作等による円滑な交通流の確保

#### 【凡例】

- 避難誘導及び交通規制箇所
- 有事対策用信号機・自家発電機能付信号機
- 交通情報板

